

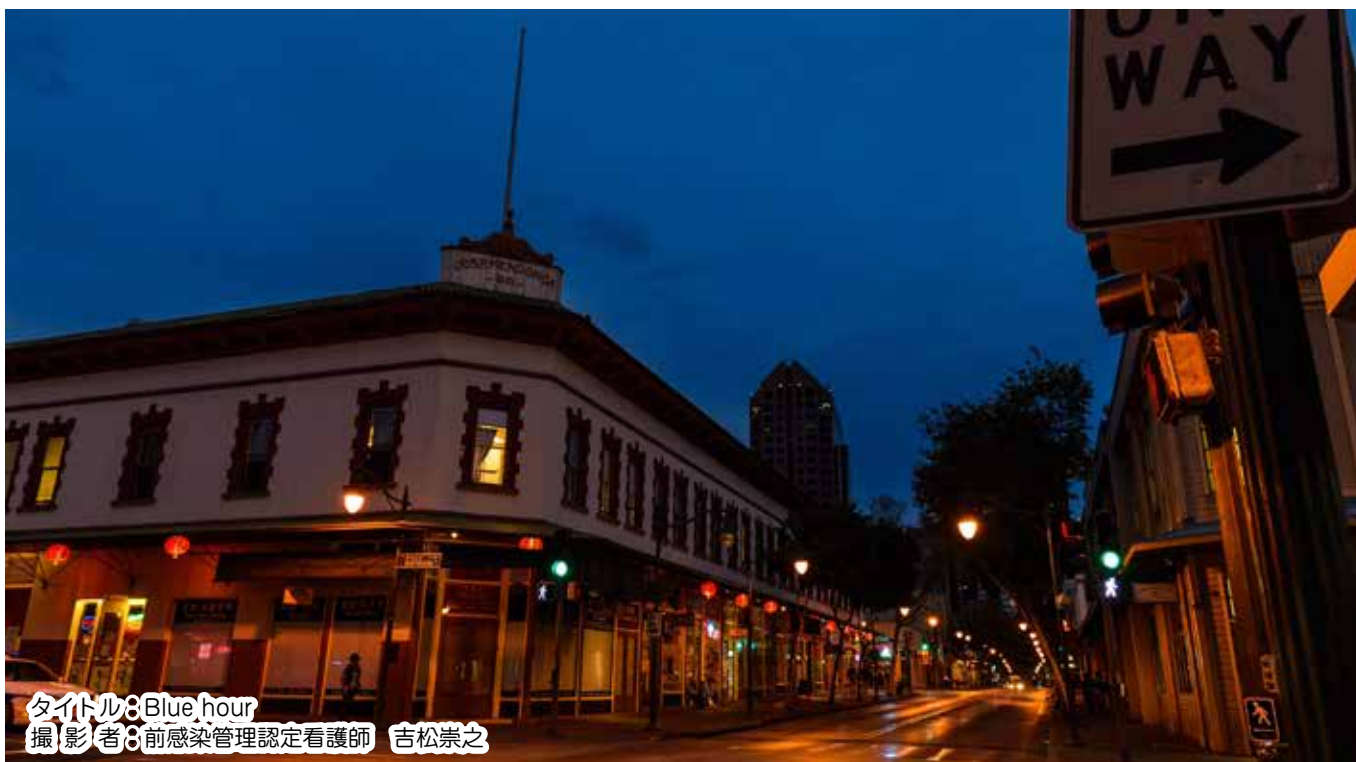
2017 May

Vol.55

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <http://www.hiro-nishi-nh.jp/>



タイトル:Blue hour

撮影者:前感染管理認定看護師 吉松崇之

CONTENTS

■ 新任医師紹介..... 2	■ 新人看護師リボン返還式..... 10
■ 昇任医師紹介..... 3	■ 平成28年度 初期臨床研修医修了式..... 11
■ 初期臨床研修医紹介..... 3	■ JNP(Japanese Nurse Practitioner):診療看護師としての1年... 12
■ ボランティア総会を開催しました..... 4	■ 事務部長着任のご挨拶..... 12
■ 地域のリーダー・アラカルト..... 5	■ カーブ観戦記..... 13
■ 自衛隊航空機を使用したDMAT広域医療搬送実機研修... 6	■ 栄養士のつぶやき⑩..... 13
■ 右国錦帯橋マラソン..... 6	■ 患者図書室から..... 14
■ 病児・病後児保育室利用状況報告と利用者アンケート結果について... 7	■ 少し足をNova Savor..... 15
■ 地域医療連携病医院のご紹介① 大和橋医院... 8	■ 地域医療連携室実績報告..... 15
■ 地域医療連携病医院のご紹介② 山下ケアクリニック... 9	■ 編集後記..... 15
■ 地域医療連携病医院のご紹介③ 渡辺医院... 10	■ 外来診療担当医表..... 16

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」

新任医師紹介

本年度4月より当院に着任となった医師から、ご挨拶申し上げます。

総合診療科 伊藤 やよいこ



- 出身地 広島県
- 出身高校 ノートルダム清心高校
- 出身大学 近畿大学
- 趣味 スポーツ、旅行
- 自己PR

4月からお世話になる伊藤やよいこです。
 2年間大学で研修し、3年目、総合診療医として1年間広島大学で勉強させていただきました。
 4年目で初めて地域の病院で働くことになり、たくさんご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。

総合診療科 亀谷 貴浩



- 出身地 広島県
- 出身高校 広島城北高校
- 出身大学 兵庫医科大学
- 趣味 ゴルフ
- 自己PR

総合診療科医師の亀谷貴浩と申します。
 患者さん、また家族の方々とのコミュニケーションを大切に、疾患のバックグラウンドを探りながらの診療を心がけています。
 少しでも地域住民の方々のお役に立てるよう頑張りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

外科 齊藤 竜助



- 出身地 茨城県
- 出身高校 茗溪学園高校
- 出身大学 筑波大学
- 専門医・指導医等の資格 日本外科学会 専門医
- 趣味

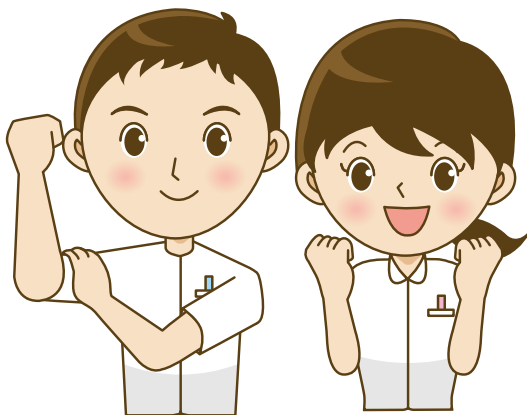
ランニング、サッカー
 ■自己PR
 平成22年に筑波大学を卒業し、八戸(青森県)、尾道、広島と徐々に西へと向かってきている齊藤竜助です。
 外科全般なんでもみますので、腹痛で困った患者さん、ヘルニアで股が腫れる患者さんなどなんでも紹介いただければ幸いです。よろしくお願い致します。

小児科 古川 年宏



- 出身地 広島県
- 出身高校 福山明王台高校
- 出身大学 広島大学
- 専門医・指導医等の資格 日本小児科学会 専門医
- 趣味 カーブ観戦

■自己PR
 4月から赴任しました古川と申します。
 地域の小児医療および長期療養中の患者さんのお力になれるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



昇任医師紹介



総合診療科医長 生田 卓也

この度、総合診療科医長を拝命致しました。
平成24年に当院に着任してから5年がたちました。総合診療科では開業医の先生方からご紹介頂く患者様と共に紹介状のない初診の患者様に対して初期診療(プライマリ・ケア)をさせていただきます。

病状に応じて臓器専門医への紹介をしていきます。

大竹地域の医療に少しでも貢献できる様に頑張っていきたいと思っております。



初期臨床研修医紹介



初期臨床研修医 近藤 賢史

■出身地 広島県 ■出身高校 広島学院高校 ■出身大学 広島大学

■趣味 音楽、モータースポーツ、筋力トレーニング

■自己PR

皆様、初めまして。昨年度広島大学を卒業し、この度初期研修医として広島西医療センターに入職しました近藤賢史と申します。

社会人としても1年目であり、多々ご迷惑をおかけするかもしれません。少しずつ仕事を覚え、勉強だけでなく社会人としてのマナーも身に付けていきたいと思っております。諸先生方はもちろん、病院全体のスタッフの皆様からも多くのことを学んでいきたいと思っております。誠心誠意研修に励みますのでどうぞご教授ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



初期臨床研修医 野口 真路

■出身地 福岡県 ■出身高校 福岡大学付属大濠高校 ■出身大学 群馬大学

■趣味 テニス

■自己PR

はじめまして。今年度より初期研修医として入職いたしました野口真路と申します。

色々なご縁が重なり広島西医療センターで働かせていただくこととなりました。誠心誠意仕事に励んでまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



初期臨床研修医 平井 雄一郎

■出身地 広島県 ■出身高校 福山明王台高校 ■出身大学 高知大学

■趣味 テニス、散歩、買い物

■自己PR

はじめまして、4月より初期研修医として入職しました平井雄一郎です。

要領が悪いため、皆様にご迷惑をおかけします。しかし、この道を志した希望や期待を失うことなく、2年間精進いたしますので、何卒よろしくお願い致します。

ボランティア総会を開催しました

庶務班長 上田 晶彦



去る3月8日、当院の大講堂において「平成28年度ボランティア総会」を開催しました。

当日は5名のボランティアの方にご出席いただき、日ごろのボランティア活動を通じて、困ったことや嬉しかったこと等、お一人ずつのお話を伺いました。ボランティアを年間で10回以上された方には、奥谷院長より感謝状と記念品を贈らせていただきました。総会の最後には、楽器演奏ボランティアの佐伯一郎さんにギターの弾き語りを披露していただき、『故郷』や『早春賦』といったなじみ深い曲を参加者全員で口ずさみながら、とても和やかな雰囲気の下、閉

会となりました。

当院では現在、29名の方をボランティアとして登録しておりますが、

- ・ 総合案内…待合ロビーでの声掛け
- ・ 園芸…正面玄関横の花壇のお手入れ
- ・ 日常会話、朗読、将棋指し…主に慢性病棟入院患者さんとの交流
- ・ 外出の付添…患者さんのお買い物や野球観戦の付添
- ・ 行事支援…院内演奏会の開催など

といった活動を通じて、様々な面から患者さんを支えていただいております。

こうしたボランティアの方々の活動が、当院の運営に多大なる貢献を果たしていることは言うまでもありません。園芸ボランティアの方々が手入れをしてくださっている花壇は、患者さんだけでなく地域の方からも、「きれいで心が安らぐわあ」という声をいただいております。また昨年には、退院後に外来へ通院されている患者さんから申し出があり、ご自身が活動中の大正琴グループによる演奏会を開催していただきました。「入院患者さんの心の励みになれば」と、ご自身の入院生活をもとにボランティアとしてご活動いただけたことは、本当にありがたいことです。こうしたボランティアの皆様のご協力により、28年度の活動件数は248件と、前年度よりも多くの方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

広島西医療センターは、本年度もボランティア活動をしていただける方を募集しております。この記事で紹介した通年のボランティアだけではなく、毎年10月に開催している広島西医療センター祭り（今年は記念すべき第10回目となります）は、学生さんや地域の皆さん等、毎年多くの方々のお力添えをいただいております。その他に、待合ロビーでのコンサート等も随時企画していきたいと考えておりますので、ボランティアをしてみたいと思われる方がいらっしゃいましたら、管理課（0827-57-7151：山根、上田）までお気軽にご連絡ください。心からお待ちしております。



ギターの生演奏



ボランティアの思い出を話していただきました



ボランティアについて和やかに意見交換



奥谷院長から表彰状を手渡しました

地域のリーダー・アラカルト (第 11 話) 『ワークライフバランス』

大竹警察署長

田 中 徹



本年3月21日に大竹警察署長として赴任して参りました。赴任に際して前原田署長を始めとして、大竹警察署経験者からは気候も温暖で、住民の皆様も警察を大変かわいがっていただいております。とても過ごしやすい所であると聞いて参りました。着任して1ヶ月経過しましたが、

その話のとおり間違いなく、大竹の生活を満喫させていただいております。これからも署員一同、住民の皆様方と一緒に安全で安心な住みよい大竹市の実現に取り組んで参りますので、よろしくお願ひします。



ところで、皆さんは警察の仕事のイメージとしてどのよう
に思われているでしょうか。

「危険」「休みがない」「呼び出しがある」…というマイナスイメージが先行するのではないのでしょうか。確かに危険な場面もありますし、休みの日でも事件や事故があれば対応しなければならぬ場合もあります。しかし、皆が常にそのような状態ではなく、そのための

装備や訓練も充実していますし、何かあってもお互いが助け合って家族的な雰囲気の中で仕事を進めています。

このような中、警察も世の中の流れに応じて「ワークライフバランス」に配慮した様々な制度を整えています。たとえば、男女とも働き続ける上で最もネックになるのは「育児・出産」と思いますが、女性特有の制度としては妊娠障害（つわり等）休暇、産前・産後休暇（産前・産後各8週）等、男性特有の制度としては配偶者出産休暇（3日）、育児参加休暇（5日）があります。その他、男女共有の制度としては育児休業（子が3歳に達するまで。いわゆるイクメンも可）、育児短時間勤務、時間外勤務の制限、家族の看護等休暇（5日）等男女とも働きやすい環境作りのための制度が整っています。また、やむなく休日に出勤した場合でも平日に休みを振り替えたり、夏休みは連休取得を奨励したり等休みの取り方も様々です。

一方、仕事のスキルアップに関しては、まず警察学校でしっかりと基本を身につけ現場へ出ますが、現場へ出てからも随時アクティブラーニングを取り入れた教養や様々な研修があり、自分の実力や希望職種に応じた教養・研修が充実しています。また、生活や健康の不安に関する各種相談窓口（部外カウンセリングを含む。）も設置されているなど、仕事や生活等の不安がある場合でもしっかりとフォローできる体制となっています。

女性の活躍も目覚ましく、県警では平成34年までに女性警察官の比率を10%以上にしようということで採用を増やしてい

るところです。この春には女性初の警察署長（江田島警察署長）も誕生するなど女性の幹部職員も増えているところ
です。女性警察官が活躍する部署も様々で、交番勤務はもちろんのこと白バイ隊員や刑事、被害者支援等の実働的な分野から各種許認可の受付や防犯等の企画、組織制度の構築等の事務的な分野まで、それぞれの特性に合った仕事をしています。また、女性の悩み事（育児等を含む。）相談窓口や女性のスキルアップのための研修、育児休業後の復職前研修等女性が活躍しやすいように仕事や育児の不安を解消するための制度も充実しています。

私自身も休暇・休日には有効に活用しております。私は、ゴルフが好きで休日には仲間とラウンドしています。ストレスの発散にはもってこいで、緑の芝生の上で白いボールをひたすら打つのは、何もかも忘れ爽快な気分になります。家族とは、サッカー



一観戦で盛り上がっています。当然サンフレッチェのファンクラブに加入しており、エディオンスタジアムには年に数回観戦に行き、サポーターズシートで声を上げて応援しています。家族旅行も毎年恒例と

なっています。今年は東京でクラシックコンサートと博物館巡りを、昨年は大阪で「トーテム」観劇や京都御所の観覧に行ってきました。また、5月の連休は毎年島根県の大根島へ行くのも恒例となっています。ここは牡丹の島として有名で、その中にある「由志園」の牡丹は見事です。その都度牡丹を買って帰りますので、自宅の狭いベランダが牡丹で一杯になっていま



す。この他にも妻と富士山や大山、四国の剣山や石鎚山、九州の普賢岳や屋久島の縄文杉まで登ったりしています。

同僚の中には日本の百名山を踏破した者もいます。警察の仕事はハードではありますがやりがいがあります。また、このようにワークライフバランスに配慮した制度も整ってきていますし、充実した休日を送ることもできます。

6月30日から本年度第2回目の警察官募集が始まります。私たちが一緒に充実した人生を送りませんか。また、ご家族やお知り合いで希望される方がおられましたら、是非ご紹介ください。

自衛隊航空機を使用したDMAT広域医療搬送実機研修(DMAT隊 美保基地開催)

前副看護師長 山 口 隆 夫 (現鳥取医療センター 看護師長)



2017年1月16日、鳥取県にある航空自衛隊美保基地において、C-1輸送機を使用したDMAT研修に参加させていただきました。天気予報では記録的な寒波（広島市内では33年ぶりに19cmの積雪を観測）ということで、前日から鳥取県米子市の方へ移動することになりました。

15日朝、外を見れば一面真っ白になっています。ネットで道路状況をみて、とりあえず高速道路は通れること、大きな事故は起きていないことを確認し、まずは集合場所である病院まで無事に行けるのかと不安を感じました。雪の中を慎重に運転し、無事に倉恒医師、河村副看護師長、荒神薬剤師、北本外来係（事務）と合流し出発することができました。

私たちDMATは、無事に現場に行き、安全に活動し、無事に戻ってくるといった、自分達の安全を確保できるということが前提となります。そのため、道中「この移動も訓練の一環」と考え、DMATのメンバーにとって良い経験になると思いました。



訓練に用いた輸送機



輸送機にて模擬患者搬送訓練

さて、研修当日になり、いよいよ訓練に参加したのですが「あら、プロテクターは？バックボードのストラップは？」事前資料にあった肘、膝当てがありません。出発前にもう一度、全員で装備の確認をすることは大切ですね。担当の方から、けがをしないようにとのことで研修に参加させていただきました。

研修の中では資器材の固定訓練、C-1輸送機への傷病者搭載訓練、機内環境体験訓練などを行いました。普段の職場とは全く違う環境で、わからないことも多い半

面、学びも多かったです。特に機内環境体験訓練においては、騒音の中、いかにコミュニケーションを取るのかが課題でした。ハンドサインやホワイトボード、タブレットなどで、コミュニケーションを工夫しなければいけないことが良くわかりました。

他の病院職員のおかげで今回の研修に参加できたことを、この場をお借りして感謝の意を申し上げます。



広島西DMAT隊(輸送機の前で)

岩国錦帯橋マラソン(ドクターランナー)

総合診療科 (兼) 健診センター 中 村 浩 士



3月5日(日)に岩国市において第11回錦帯橋ロードレース大会（総参加者数4,381名）が開催されました。総合診療科ではハーフ、10km、5kmの3部門においてドクターランナーズランを企画しました。この呼びかけに当院はもとより遠くは山口大学病院医師1名と看護師2名、広島大学病院

医師1名、岩国医療センター研修医6名を含む総勢14名ものボランティアが錦帯橋に集まり、それぞれの“走り”と救護活動を展開致しました。当日は天候もよく、安全無事に任務を終了することが出来ましたので報告致します。みなさん本当にお疲れ様でした。



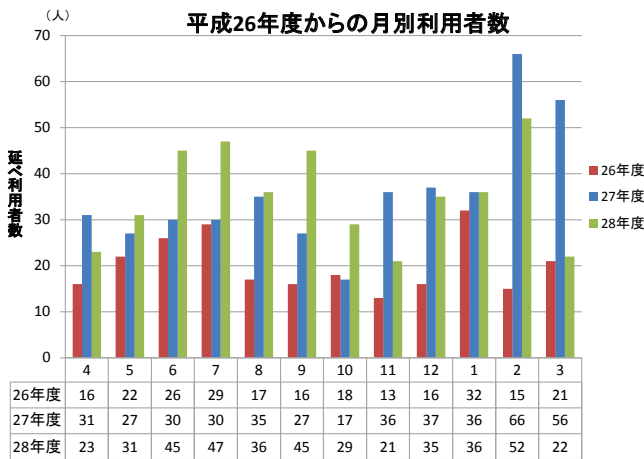
病児・病後児保育室利用状況報告と利用者アンケート結果について

前管理課長 植田 誠 司 (現山口宇部医療センター管理課長)

病児・病後児保育室の利用状況について28年度実績が、確定しましたのでご報告させていただきます。

28年度も利用者は非常に多く、昨年度(428人)とほぼ同様の422人の利用がありました。(別図1)

(別図1)



広島市では29年度から「広島広域都市圏発展ビジョン」の計画が進められ、広島圏域を構成する11市13町の計24市町(別図2)による、地域の資源を圏域全体で活用する様々な施策を展開していく方針です。病児・病後児保育事業も圏域内住民が市町を越えて利用可能なものにする 것과計画されています。

当院の病児・病後児保育室も今後多方面からの利用が増加することも予想され、昨年末頃から申請書等様式の見直しや、保育士確保等の準備を行いました。

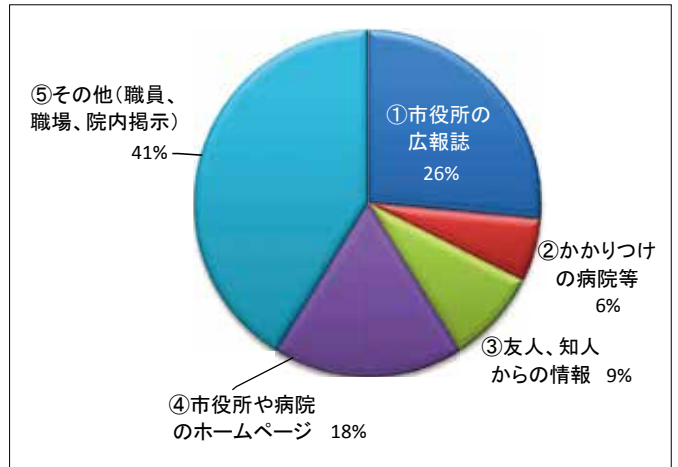
利用実績については、中間、年度末に再度お知らせいたします。

話は変わりますが、昨年の夏に利用者に対するアンケートを実施しましたので簡単にご説明いたします。

(別図2)



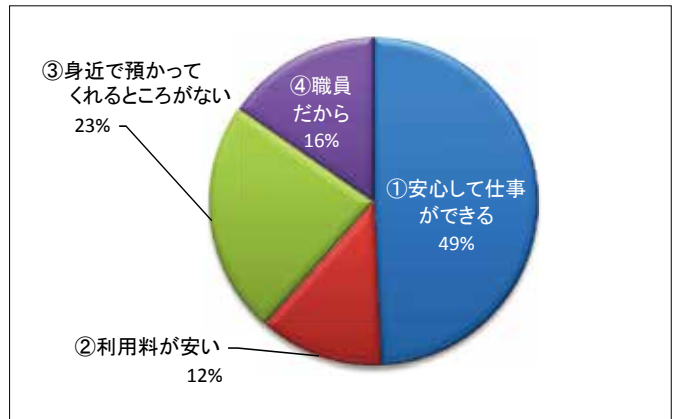
病児・病後保育室ほったきっかけは？(グラフ1)



- ①市役所の広報誌 26%
- ②かかりつけの病院 6%
- ③友人、知人からの情報 9%
- ④市役所や病院のホームページ 18%
- ⑤その他職員、職場、院内掲示 41%

大竹市や病院からの広報が利用者の方々に届いてうれしい結果でした。

今後も利用したい理由は？(グラフ2)



- ①安心して仕事ができる 49%
- ②利用料が安い 12%
- ③身近で預かってくれるところがない 23%
- ④職員だから 16%

「安心して仕事ができる」という回答が一番多かったことに、この事業を運営している、大竹市、委託を受けている広島西医療センターのスタッフ全員が満足していると思います。

今後も、利用者の方の子育てと就労のサポートの一助となるように努めて参ります。

地域医療連携病院医院のご紹介① 医療法人社団親和会 大和橋医院

【診療科目】 内科・消化器科・外科・放射線科

【医師名】 山根 康彦

【住所】 〒739-0613 大竹市本町2-9-4

【電話番号】 0827-52-3059

【診療表】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:30～18:00	○	○	○	○17:00まで	○	/

※午前受付時間8:30～12:15、午後受付時間14:00～17:45

※木曜日午後17:00まで。土曜日、午後休診。日曜日、祝日休診。

【診療内容の特徴など】

●開業の時期●

大和橋医院は父が開業してから60年近くになります。平成5年からは私も父と共に、この大竹市・小瀬川周辺の医療に携わってきました。当初は6名程のスタッフしかいませんでしたが、高齢の方向けの転倒予防教室を始め、患者の方の声に応えるべく邁進してまいりました。

●医院の特徴●

当院は関連の病院・居宅介護・訪問看護・リハビリ・メディカルフィットネスの施設を持っており、地域に密着して、病気の1次予防・2次予防・3次予防をリンクさせて対応しています。

また診療を行う上で、患者の方の立場に立つことを大切にしています。患者の方の年齢・家族構成・経済状況は様々ですので、その人にとってより良い診療ができるようにしたいと考えています。

●特に取り組んでいることや今後について●

私のもともとの専門は外科ですが、地域の『かかりつけ医』として内科も行っています。病院としては、内科・外科・消化器科・放射線科、特殊外来として禁煙外来・忘れ物外来・運動指導・24時間対応往診を行っています。今後も小瀬川周辺の地域に密着しながら、運動での病気予防に力を入れていきたいと思っています。

●先生の趣味●

私は学生時代に空手、オーケストラでファゴットを吹いていました。数年前には娘の影響でチェロも始めました。現在の趣味はゴルフで、週に1度ほど楽しんでます。



地域医療連携病院のご紹介②

山下ケアクリニック

【診療科目】 内科・外科

【医師名】 山下 久幾

【住 所】 〒739-0612 大竹市油見3丁目3-9

【電話番号】 0827-54-0852

【診療表】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	/
16:00～18:00	○	○	○	○	○	/

※13:00～16:00 在宅訪問診療。

※土曜日、日曜日、祝日等休診。

【診療内容の特徴など】

●開業の時期●

平成28年5月に開院しました。

●医院の特徴●

内科および一般外科のプライマリ・ケアを行っています。認定医として日本プライマリ・ケア連合学会の目指すプライマリ・ケアの5つの理念（近接性・包括性・協調性・継続性・責任性）に沿った診療を心掛けています。山下ケアクリニックでは、慢性疾患や重度の内科患者さんを中心に外来や在宅医療を行い、少しでも長く住み慣れた自宅に住み続けられるよう医学的なサポートを行うクリニックを目指しております。連携医療機関である広島西医療センターの先生方、看護師さん、リハビリの先生、薬剤師の先生や栄養士さん、パラメディカルや職員さんには多大なご協力をいただき、入院や精密検査が必要なときには直ちにご紹介させていただけるため、日々安心して患者さんに向き合うことができます。地域に根差した本当にバランスの良い病院が近接している環境にあり、感謝の毎日です。

●特に取り組んでいることや今後について●

現在は仮設診療所のため平成29年7月には近接地に移転いたします。かかりつけ医として、患者さんが必要としている医療を精一杯することが医師としての使命と考えています。また、地域包括ケアシステムの構築に少しでも協力できるよう大竹市医師会の先生方、ケアマネさん、訪問看護や訪問介護、薬剤師、歯科の先生など多職種の皆様のご指導をいただきながらクリニックを運営していきたいと考えています。診療所の役割を考えること、手探りの日々です。

●先生の趣味●

学生時代はスキューバダイビングが大好きで、日本海や四国、沖縄などに行きました。海は癒しですね。今は24時間体制の在宅医療をしていますので大竹市から遠くいけず、ダイビングはできていません。大野の海で、シーカヤックに何度か行きました。子供4人と大竹市でできる趣味を探しています。弥栄ダムでカヤックをすることと自宅で農園をすることが当面の目標です。



地域医療連携病院医院のご紹介② 渡辺 医 院

【診療科目】 内科・循環器内科・小児科

【医 師 名】 渡辺健一郎

【住 所】 〒739-0605 大竹市立戸2-3-8

【電話番号】 0827-53-1151

【診 療 表】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	/	○	/

※木曜日、土曜日午後休診。日曜日、祝日休診。



新人看護師リボン返還式

教育担当師長 高 下 尚 子



広島西医療センターでは、新人看護師は4月の採用時に左肩に黄色いリボンをつけます。このリボンをつけることで、どの職員も新人看護師であることがわかり、困った時には丁寧にサポートができるような体制を整えています。看護部では、2月に1年間の学びの発表を病棟で行い、成長を振り返ります。また、よく頑張ったという思いと、新たに2年目看護師として、後輩ナースを受け入れるための準備として、

平成29年3月15日(水)に看護師31名のリボン返還式が行われました。

臨床研修医修了式と合わせて、実施していただき、院長先生をはじめ、多くの職員の方々に温かく見守っていただきました。

4月になり、2年目看護師として後輩を迎え、黄色リボンをつけた新人看護師に対し丁寧に関わる姿を見て、成長を感じています。



リボン返還式

東3病棟 山 田 志 乃



4月からあっという間の一年でした。看護部長さんをはじめ、病棟の先輩方・他部門の皆様方に丁寧な指導を頂き、多くの患者さんと関わる中でたくさんのごことを学ぶことができました。私は、患者さんに寄り添う看護を目標に4月から頑張ってきましたが、患者さん一人ひとりを理解するのは難しく、寄り添う看護を実現することの大変さを痛感しました。二年目からも、患者さんとのコミュニケーションを大切に、患者さんを多方面から理解し、常に広い視野をもって仕事するよう心掛けたいと思います。これからも同期で声を掛け合って、看護専門職として成長できるように頑張りたいと思います。今後ともご指導よろしくお願ひします。



平成28年度 初期臨床研修医修了式

臨床研修室長／統括診療部長 新 甲 靖



私は毎年この時期になると広島西医療センター NEWSに「初期臨床研修医修了式」（以下、「修了式」と略します）の記事を書いておりますので、「似たような記事を読んだ様な気がする」と思われる方が少なからずおられると思います。

でも私は挫けません！

①研修を修了して送り出される研修医は、毎年それぞれ違う人間、②今回初めて広島西医療センター NEWSを読まれる方も沢山おられると言い張ってこの原稿を書いております。

医学部を卒業して、医師国家試験に合格したばかりの医師は「初期臨床研修指定病院」で2年間の研修を受けることが義務付けられております。

年によって増減はありますが、広島県全体で毎年160人から180人程度の医師が初期臨床研修医として研修指定病院で2年間の修行に入ります。当院は広島県内に25病院ある「初期臨床研修指定病院」のうちの一つという訳です。

遡ること2年、平成27年4月1日に当院での研修を希望して入職した医師は4名でした。

その4名は特にテレビドラマ的な盛り上がりもなく、真面目に、普通に研修を受け、厚生労働省の求める医師としての基準も楽～にクリアし、平成29年3月15日に修了式を迎えた訳であります。

当院の修了式は、後輩研修医の企画・司会進行で毎年、次の様に行われます。

1. 院長の奥谷より「修了証書」の授与
2. 「本人が当院の2年間で得たもの」を学会発表形式で各自15分程度プレゼンテーション
3. 後輩研修医が自腹で準備した記念品の贈呈
4. 記念写真撮影
5. アルコール抜きの記念パーティー

折角ですから、毎年一番盛り上がる「各自のプレゼン・本年度版」を披露させて頂きます。

●その1 金本先生

とても真面目で優秀な金本先生が、学生時代は「金髪のギャル系」だったことをカミングアウト！（写真はあえ



て荒くしてありますが、青マルの中が学生時代の金本先生だそうです）

このインパクトで、その他の内容は誰も覚えていません。

●その2 長坂先生

彼は研修終了とほぼ同時に結婚し、後輩研修医から祝福されるの図。

破天荒キャラだったのに、なんか普通！？



●その3 辻先生



「釣り」と「釣った魚を自分でさばいて食べる」ことが趣味の辻先生、2年間の釣果と自分で作った魚料理の写真を山ほどプレゼンしてくれました。

こちらも「腹いっぱい」です。

●その4 田中先生

AKBオタクの田中先生。2年間に遠征した握手会は数知れず。

プレゼン内容は「握手会で推しメンに自分を認識してもらおう方法」。

本人もそこそこイケメンなのに、何でこうなった…



という訳で、最後は記念撮影です。

4人ともこのまま勉強を続けて、大きくなってまた広島西に帰ってきて下さい。



JNP(Japanese Nurse Practitioner):診療看護師としての1年

統括診療部／成育心身障がいセンター 診療看護師 幸田 裕 哉



昨年4月1日から統括診療部に所属し、診療看護師：JNP（Japanese Nurse Practitioner）として活動が始まり、あっという間の1年が過ぎました。

私は元々広島西医療センターで10年余り看護師として働いておりましたが、通常の看護師では行う事のできない医療行為を行う事ができるJNPになりたいと考え、平成26年から2年間大分の医療系大学院で学んでJNPの資格を取得しました。

その後広島西医療センターにJNPとして復職し、この1年間に泌尿器科、血液内科、神経内科、循環器科、小児科（筋ジス、重心）、総合診療科、外科、皮膚科、整形外科、消化器科、肝臓内科をローテーション研修させていただきました。

各診療科では外来患者さんの診察の場面から入院患者さんの処置や検査、回診、外科系診療科では手術にも研修医の先生方と同様にいらしていただき、多くのことを学ぶことができました。中でも年間を通して重点的に実施してきた活動として、訪問診療への同行（写真1）、慢性期病棟の長期療養患者さんの気管カニューレ交換、胃瘻交換、末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC：ピック）の挿入（写真2）についてはこの1年間を通し、各診療科でお世話になりながら、指導医の先生方のご指導の元、実施してきました。これらの特定分野の限定的に診療看護師が行える医療行為を特定行為と呼び、この1年間実践の中で症例数を重ねてきました。

まだまだ未熟な点も多いのですが、単に数をこなしてきたのではなく、関わらせていただく中で患者さん一人一人の適応や個別性、背景を確認しながらの実践は先生方の指導下ではありますが、大きな責任の中で一人の医療者として成長し、学ぶ機会となりました。



在宅訪問時

また、当院で初めての診療看護師に対し、業務の在り方を模索しながらの状況下で、依頼や指示を頂く先生方はもちろんのこと、各診療科のスタッフの方々や各病棟看護師の皆さんの協力体制のおかげで1年間の研修期間を無事に終えることができました。そして何より外来、入院患者さんとの関わりの中で、疾患や治療の学びだけでなく、人として、看護師としての倫理観や関わり方を学びなおす機会にもなりました。



末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC：ピック）挿入時

研修期間は終わり、新年度から成育心身障がいセンターを拠点に活動することになりましたが、今後も引き続き院内で多くの患者さんと関わる中で日々成長し、地域や病院に貢献できる人材となれるよう努力して参りますので今後とも宜しく願い致します。

着任のご挨拶

事務部長 大谷 伸 次



4月より着任しました事務部長の大谷伸次（おおたにしんじ）と申します。

当院には1年間ですが6年前に勤務させていただき、再度お世話になることになりました。

6年前の在職時は、外来診療棟や病棟整備の着工前であり、この度の着任時に新しくきれいに整備された建物の中に入り感激した次第です。また、当時、申請準備をしていた地域医療支援病院の機能が付与され、益々地域医療に貢献し発展していることに身が引き締まる思いです。

6年前といえば東北の震災があった年ですが、当院は災害拠点病院として昨年には大規模災害に備えた訓練も実施したと伺っております。

こうした地域社会における当院の役割に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

カープ観戦記

診療部長 藤原 仁



桜が満開の4月7日(金)、開幕から3カード目のヤクルト戦初戦を、マツダスタジアムで観戦しました。昨今、マツダのチケットの入手は困難となっていますが、この日は運よくレフト側のテラス席から観戦できました。ジョンソン選手が先発かと思っていましたが、咽喉炎とのことで登録抹消。急遽、本年度のドラ1の加藤

選手の先発でした。制球にやや難ありと聞いていたもので今日も長い試合になるのかなあと思いましたが、蓋を開ければ何のその、ルーキーでありながら9回1アウトまでノーヒットノーランに抑える好投でした。試合も2対1のスコアでカープ勝利でした。私事で恐縮ではありますが、私は大学入学までは四国で育ち、幼少期から「野球は巨人」でした。大学入学後もこれは変わらず、社会人になっても同様でした。しかしながら数年前から、カープの選手の爽やかさ、スタジアムの雰囲気魅了され、いっぺんにカープ党になりました。黒田投手が引退し、誰が穴を埋めるのか危惧しましたが、現時点(4月11日)では穴どころか山の勢いです。ずっとこのままという訳にはいかないでしょうが、今年も楽しませて欲しいものです。



栄養士のつぶやき²⁰

もうすぐ収穫時期 ~梅のお話~

5月になり、若葉の緑が目にしみる季節となりましたが…そろそろ梅が出回る時期です。梅が出回る期間はとても短く、あっという間に終わってしまいます。(5月下旬~6月下旬)梅はバラ科サクラ属の木になる実で、熟しても甘くならず強い酸味が特徴の果実です。主に梅酒や梅干しの材料などに使用される事が多く、古くから親しまれてきました。梅は用途に応じて色々なタイプがあります。



粒の小さな小梅。色が青く、まだ未熟うちに収穫し、主に梅酒や梅ジュース、梅シロップなどに使われる青梅。ある程度色付くまで熟してから収穫し、主に梅干しに使われる完熟梅などがあります。

そして、「梅」にまつわる諺(ことわざ)や言い伝えが、たくさんある事をご存知ですか？

その中でも特に有名なのが…【塩梅(あんばい)】

「あんばい」とは漢字では「塩梅」と書くので、その漢字の通り「塩」と「梅」です。

昔の料理の味付けとして、塩と梅酢(※1)を使い、絶妙なバランスだったことから「塩梅がいい」と言っていたようですが、この時はまだ「あんばい」ではなく「えんばい」と読まれていたようです。

そして「按排(あんばい)」という、物をほどよく配列するという意味を持っている言葉があり、同じような意味を持っていたことから、混同して「塩梅」も「あんばい」になったのではないかとされています。

梅に含まれるクエン酸には、疲労回復や胃腸の調子を整えたり、二日酔いを解消する効果があるとされています。

今年はぜひ梅を買って、梅ジュースや梅シロップを手作りし、これからの暑い季節を乗り切りましょう。(※1「梅酢(うめず)」=梅の実を塩漬けた時に出る汁)





患者図書室から



こどもの病気の病気 大特集！！他にもいっぱいあるよ

<p>先生と親のための LGBTガイド もしあなたが カミングアウトされたなら</p> <p>(遠藤 まめた/ 合同出版)</p> <p>※LGBTとは、性的少数者を限定的に 指す言葉</p> 	<p>食事療法シリーズ 乳幼児・学童期 の 病気と食事</p> <p>(医歯薬出版 編/ 医歯薬出版株式会社)</p> 	<p>「うちの子って大丈夫？」 と思ったら読む本 ネット依存症から 子どもを救う本</p> <p>(樋口 進/法研)</p> 	<p>子どものうちに 知っておきたい！ おしゃれ障害</p> <p>(岡村 理栄子/ 少年写真新聞社)</p> 
<p>やさしくわかる子どもの 起立性調節障害 保護者・先生が知っておきたい 正しい理解とケア</p> <p>(田中 大介/洋泉社)</p>	<p>発達と障害を考える本 2 ふしぎだね！？ アスペルガー症候群 (高機能自閉症)のおともだち</p> <p>(内山 登紀夫 /ミネルヴァ書房)</p>	<p>病気を正しく理解して 回復をめざそう！ 摂食障害と寄りそっ て回復をめざす本</p> <p>(実践編)</p> <p>(切池 信夫/日東書院)</p>	<p>お母さんのための やさしい 小児糖尿病の 自己管理</p> <p>(松浦 信夫 菊池 信行/医療ジャーナル社)</p>
<p>お母さんに伝えたい 子どもの病気 ホームケア ガイド 第3版</p> <p>(日本外来小児科学会 編著 医歯薬出版株式会社)</p> 	<p>知的障害・発達障害の ある子どもの 住まいの工夫 ガイドブック 危ない！困った！を安全・安心に</p> <p>(西村 顕 本田 秀夫/ 中央法規)</p> 	<p>子どものアト ピー性皮膚炎 正しい治療法</p> <p>(江藤 隆史/講談社)</p> 	<p>子どもの危ない ひきつけ・ けいれん</p> <p>(金澤 治/講談社)</p> 
<p>ことばの遅れ のすべてがわかる本</p> <p>(中川 信子/講談社)</p>	<p>子どもの心の 病気がわかる本</p> <p>(市川 宏伸/講談社)</p>	<p>お母さんのための やさしい 小児喘息の おはなし</p> <p>(森川 昭廣 望月 博之/医療ジャーナル社)</p>	<p>拒食症と 過食症の治し方</p> <p>(切池 信夫/講談社)</p>
<p>不登校・ ひきこもりの 心がわかる本</p> <p>(磯部 潮/講談社)</p>	<p>AD/HD、LD がある子どもを 育てる本</p> <p>(月森 久江/講談社)</p>	<p>自閉症の僕の 七転び八起き</p> <p>(東田 直樹/KADOKAWA)</p>	<p>ダウン症の すべてがわかる本</p> <p>(池田 由紀江/講談社)</p>

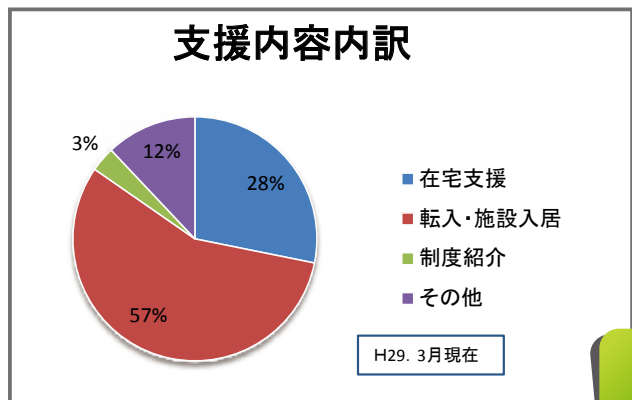
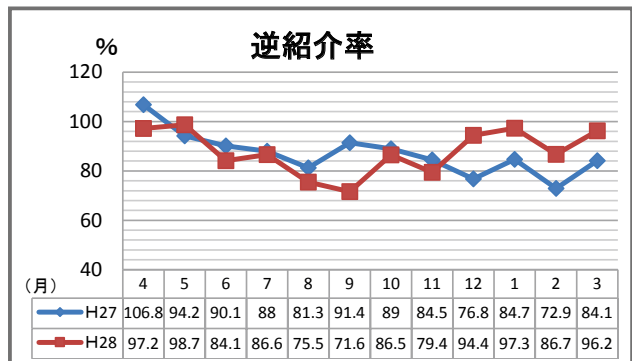
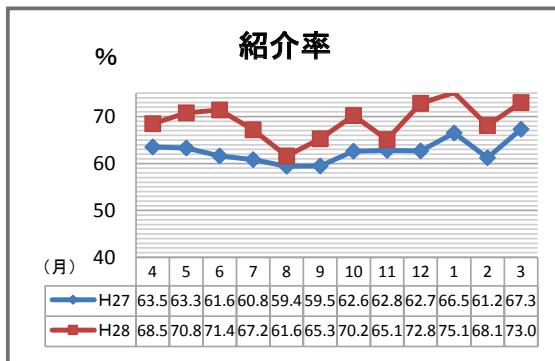
開館時間：月～金 10時～15時(土・日曜、祝日、年末年始をのぞく) 場所：正面玄関から入って直進 70m先

少し足をNova Savor ～由志園ばたん園遊会～

島根県は大根島、由志園のばたん園遊会です。
 このイベントは、1か月間に渡り開催されますが、花のメンテナンスはさぞ大変と思います。
 作業する方は菅笠をかぶり、少しでも違和感の無いよう努めておられます。
 ※今号をもって「少し足をNova Savor」は終了いたします



地域医療連携室実績報告



■編集後記

新たな医師、看護師等多くのスタッフを迎えて、新年度がスタートしました。
 まだまだ不慣れなことが多く、皆さんの助けを借りながら日々業務を行っており、多々ご迷惑をお掛けしております。

1日でも早く独り立ち出来るように努力する毎日です。

(管理課長 山根 啓詞)

外来診療担当医表

広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで 前号からの変更箇所 新患可 平成29年5月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	1 診	亀谷 貴浩	伊藤やよいこ	亀谷 貴浩	生田 卓也	伊藤やよいこ	下記の専門領域以外の新患	
	再 診			生田 卓也				
内 科	専門領域新患 (紹介患者)	藤堂祐子/山中秀彦 消化器	倉恒 正利 腎 臓	坂本 直子 血 液	広 大 呼 吸 器	藤原 仁 循 環 器	月曜日 隔週 血液は下欄で毎日 新患可(①②あり)	
	1 診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)②	坂本直子(呼吸器)	広大(呼吸器)		坂本直子(呼吸器)
	2 診	消化器/肝	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	福原 崇之(肝)	山中秀彦(消化管)	福原 崇之(肝)		藤堂祐子(消化管)
	3 診	呼吸器/内分泌代謝/血液	鼻岡理恵(消化器)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)		角野 萌(血液)
	4 診	血 液	新美真正(血液)①	角野 萌(血液)①	下村壮司(血液)①	下村壮司(血液)②		宗正昌三(血液)①
	5 診	循 環 器	藤原仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原仁(循環器)	中村秀志(循環器)		藤原仁(循環器)
	6 診	腎臓/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	新美真正(血液)②	高蓋寿朗(血液)①		広大(血液)②
神経内科	1 診	元田 敦子	渡邊千種(物忘れ)(第2・4・5)	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2 診	牧野恭子(パーキンソン病)	元田 敦子(第1・3)	元田 敦子	檜垣雅裕(頭痛)	渡邊千種(筋疾患)	予約制 PM	
C A P D 外 来		倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁 煙 外 来		/	担当医	/	/	/	PM2~4 予約制	
小 児 科	1 診	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	※は月曜日が休日の 場合火曜日	
	2 診	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏		
		予防接種※	慢性外来	乳児健診	慢性外来	/	PM	
	小児筋ジストロフィー	伊藤 明子	伊藤明子・福田清貴	伊藤 明子	伊藤 明子	伊藤明子・福田清貴	予約制	
	重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦		
発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範			
小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範			
補 装 具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外 科	初 診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	嶋谷/今岡/石崎/齊藤	金曜日交代制	
	再 診	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	石崎 康代	今岡 泰博			
整形外科	初 診	岩崎 洋一	藤原 祐輔	永田 義彦	/	糸谷 友志	木曜日手術日	
	再 診	糸谷友志/(永田義彦)	永田 義彦	岩崎 洋一	/	永田 義彦		
	再 診	藤原 祐輔	糸谷友志/(岩崎洋一)	糸谷友志/(藤原祐輔)	/	藤原祐輔/(岩崎洋一)		
泌尿器科	1 診	浅野耕助/福島貴郁	浅野 耕助	浅野 耕助	藤井 慎介	浅野 耕助		
	2 診	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司		
産 婦 人 科		新甲 靖	新甲 靖	/	新甲 靖	/	予約制	
皮 膚 科		中村 吏江	中村 吏江	/	中村 吏江	中村 吏江	水曜日手術日	
眼 科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご相談下さい。

小児科の診療時間の変更について

現在、定時診療 (8時30分から11時00分まで診療受付) 及び急患に限り20時まで診療受付をしておりますが、6月1日(木)から救急受診の受付時間を17時15分までに変更させていただきます。

診療受付時間

- ①定時診療：平日8時30分~11時00分
- ②救急受診：平日17時15分まで
土、日、祝日 8時30分~17時15分

糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします (当日予約可能です)。

問い合わせ先：栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151

■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室

ダイレクトイン (0827)57-7183 (内線2140)

FAX (0827)57-7701